

Gōkan: ( No  
Yowa nasake  
Book 1--5.

~ 13  
3727  
1



一勇齋國芳画  
榎田舎好文作



初編下

与話情浮名横櫛



初編上

榮久堂梓



好文作  
國芳画

与話情  
榮久堂梓

榮久堂梓

二編上

二編下

源氏店

手話情浮名横櫛編三



謀田舎好文録  
一勇齋國芳画

下

上

門 13  
3727  
1

本活情浮名

横松云海

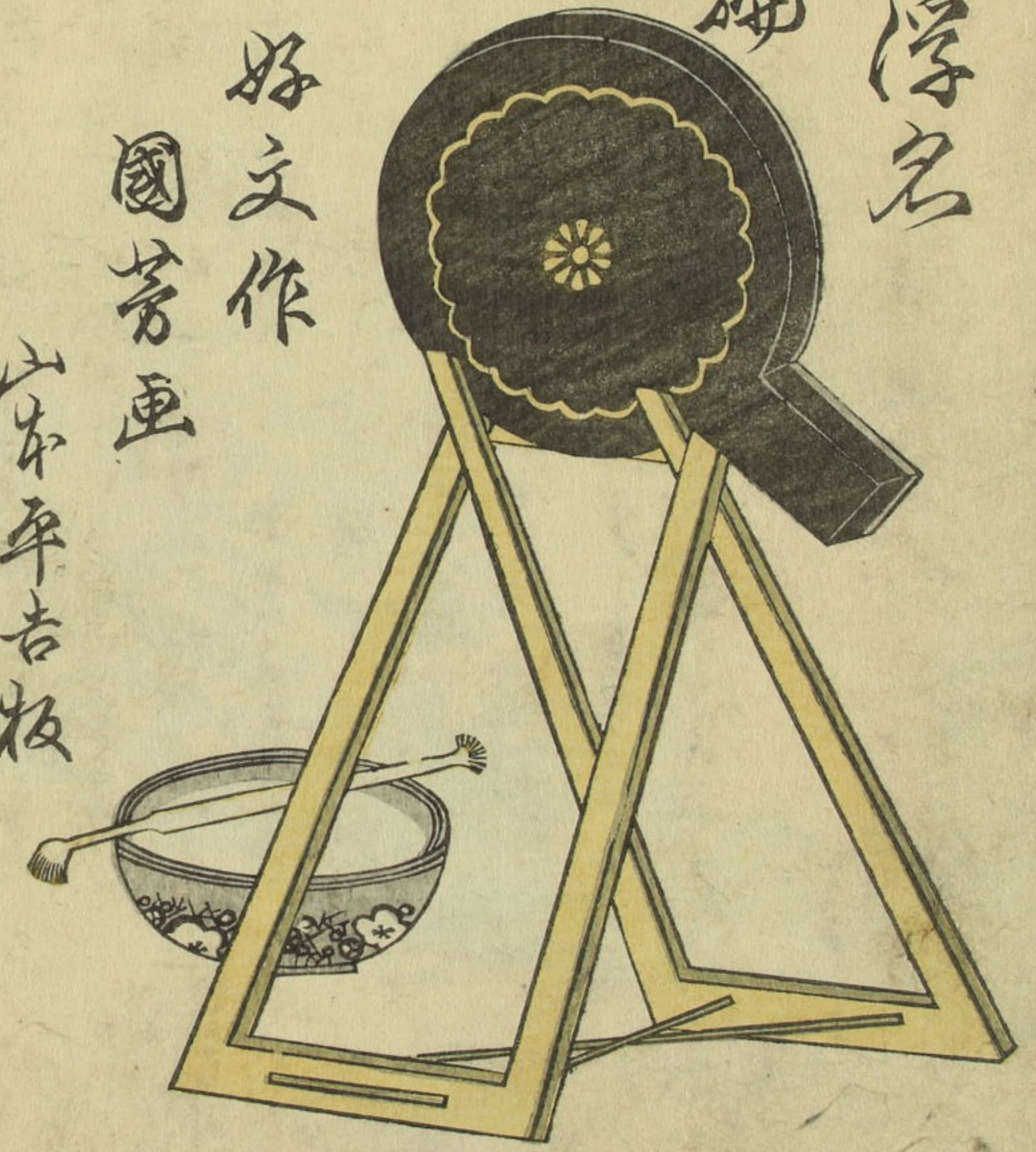
下西卷



好文作

國芳画

山本平吉板



一

日日新而又日日新ありといふ實に當時の流行都ての更が  
 か多ぶるが、いづれを好む中、水無月の氷のりのみ  
 嚴寒の比より鶯を轉せ、弥生の中、ふい初鯉を求と  
 故今世の人情、既ふ是ある於登美与三郎の小説奇談も  
 往昔よりかろつて、鐵倉時代の事ある古と  
 新規の翻案その初物とと鯉ふひう、榮久堂の  
 荒割早い所、賞翫とを併合はる、梓元の倅、僕ハ  
 素より梓元の倅、僕ハ

千昔嘉永六稔  
 癸丑弥生日發市

四 榎田舎好文誌



時節の編



吉布刀端

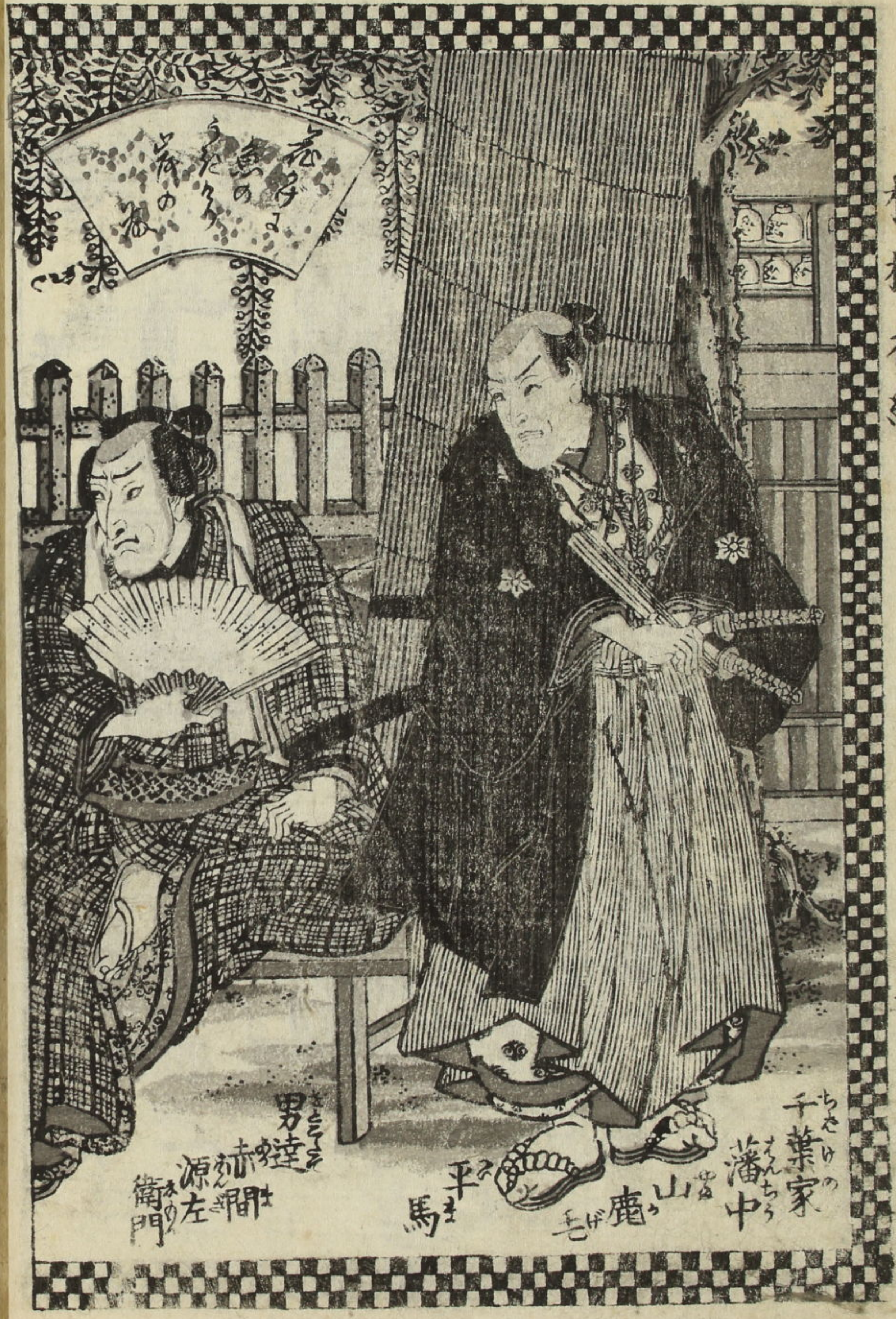


青布の端



編み出入  
与三郎  
与五郎  
井澄屋  
手代藤八  
藍屋娘  
おたけ

梅柳の影



男  
源赤達  
左衛門  
平馬  
毛魔  
山  
千葉家  
潘中

黄布刀扇



横櫛









大旦那様は新門の番三郎と申すは...  
おのれは...  
おのれは...  
おのれは...



おのれは...  
おのれは...  
おのれは...

おのれは...  
おのれは...  
おのれは...



おのれは...  
おのれは...  
おのれは...

大旦那様





花紅葉解脱結川 三冊 上巻

近日賣出一やい

棋田舎好文作 梅蝶樓國貞画

國芳画

此の巻は... 其の八... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百



好文作

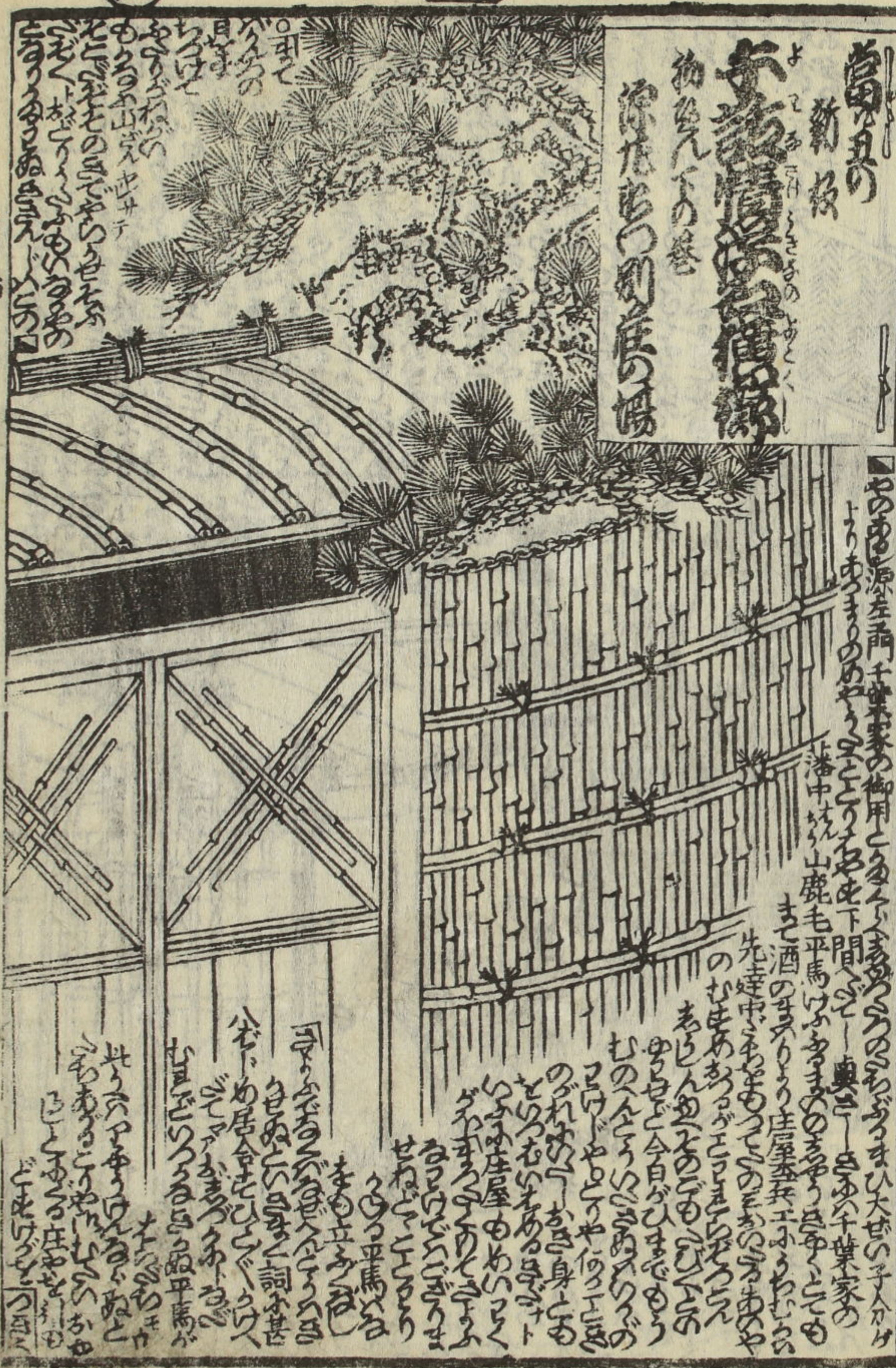
賞品の

勲章

赤松の

物色

深大の



此の巻は... 其の八... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

賞品の



勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方... 勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方...

勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方... 勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方...



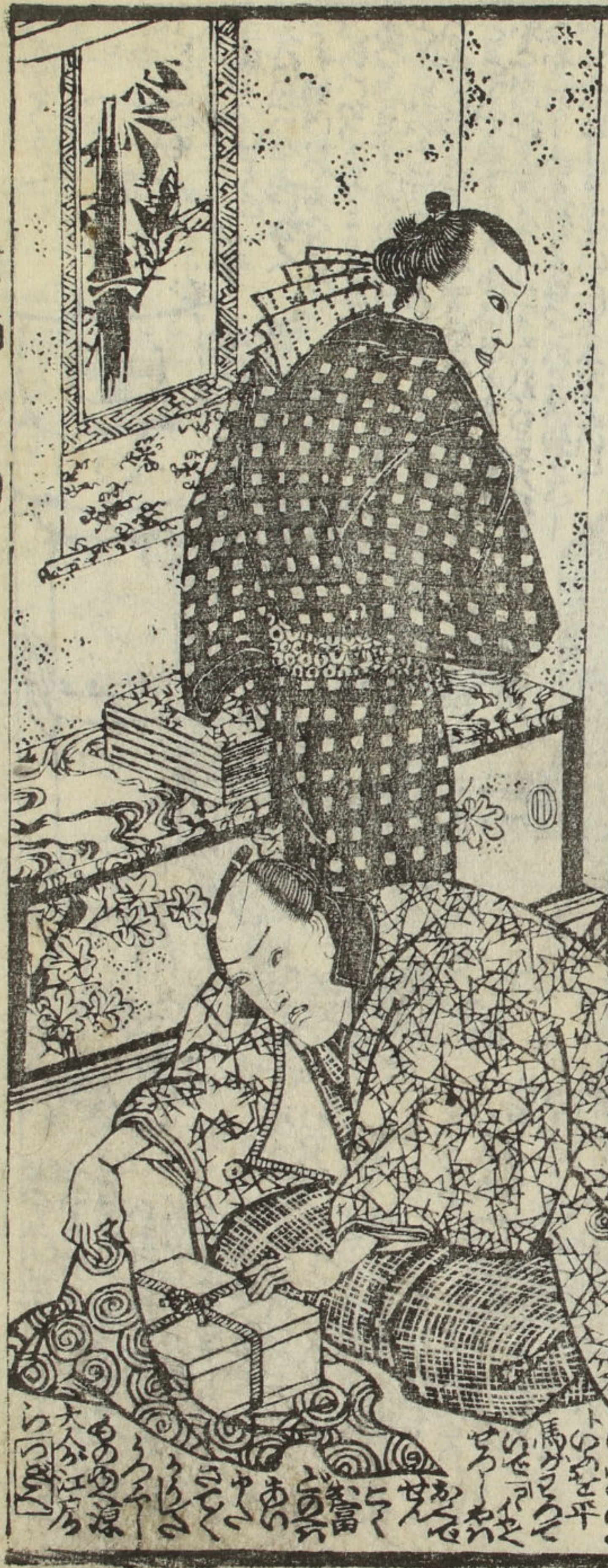
勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方... 勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方...

勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方... 勘十郎は平馬の御方... 源左衛門の御方...

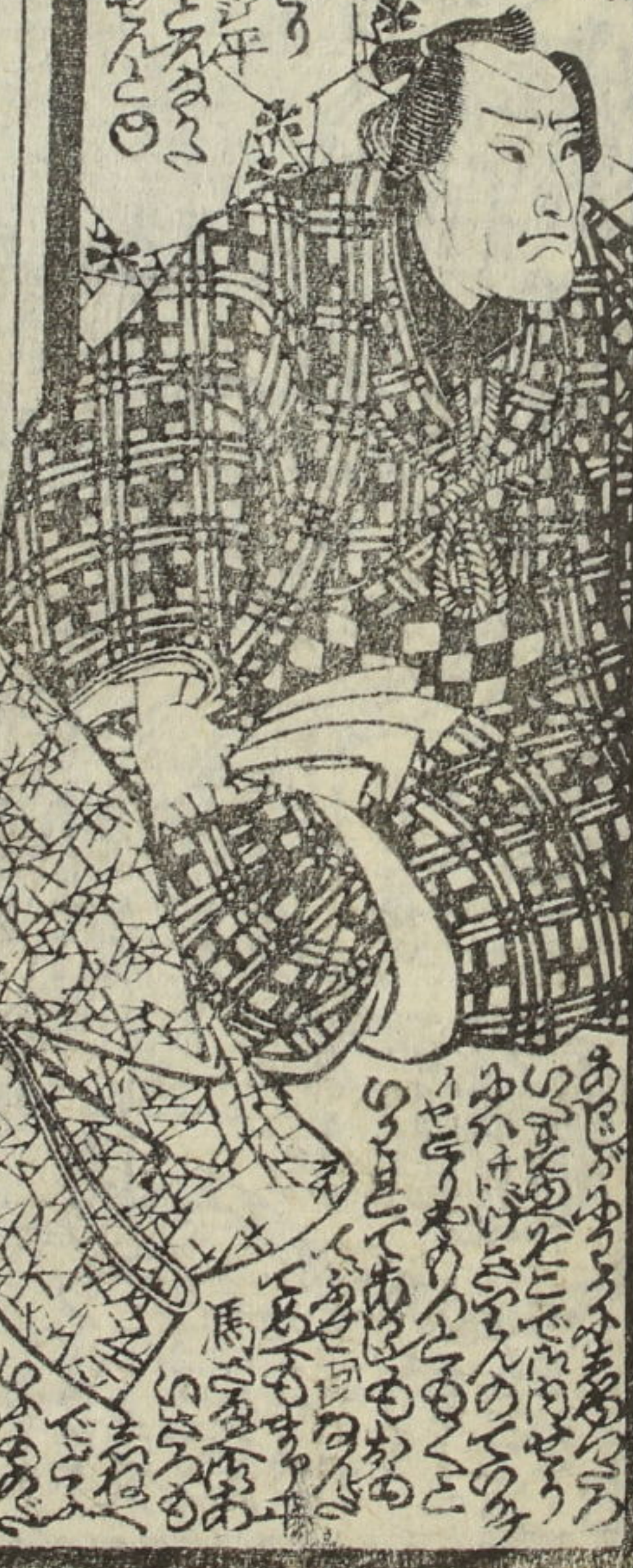








Vertical text columns on the left page, likely a preface or introductory text.



Text at the bottom of the left page, possibly a caption or commentary.

Vertical text columns at the top of the right page, likely a preface or introductory text.



Vertical text columns on the right page, likely a preface or introductory text.







Vertical Japanese calligraphy in the upper left corner of the illustration, including the characters '五月' (May).

Vertical Japanese calligraphy in the lower left corner of the illustration.

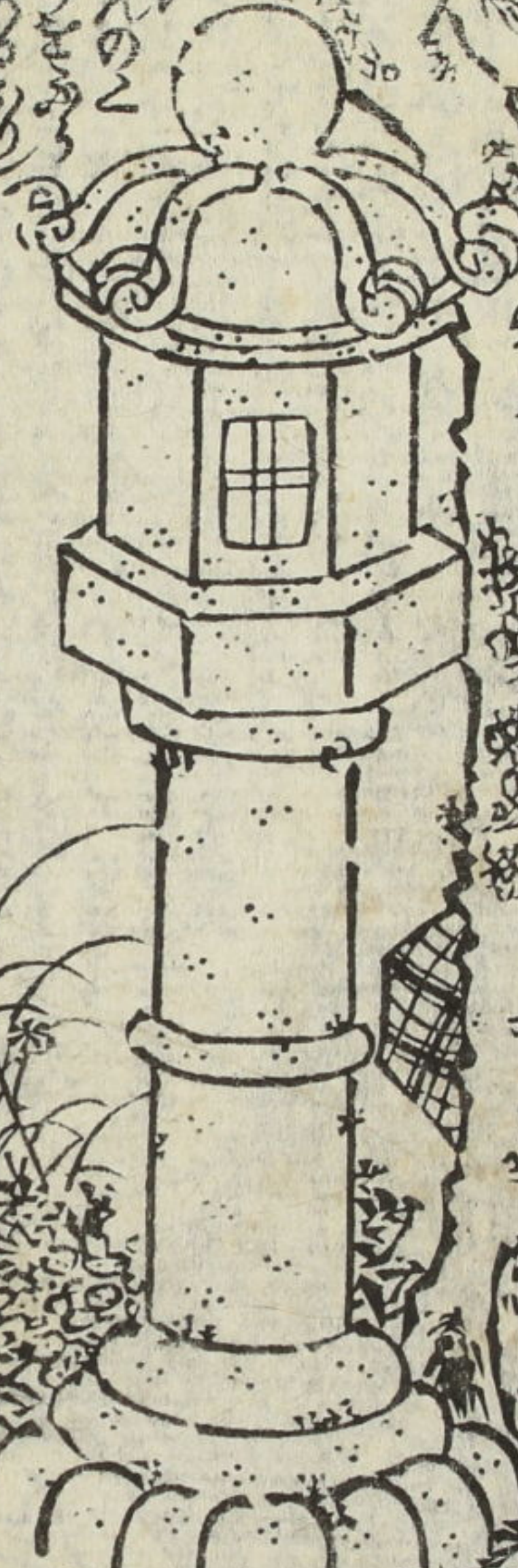


Extensive vertical Japanese calligraphy surrounding the veranda illustration, including the characters '梅' (Plum) and '初' (First).

梅 初

十六

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the left page.





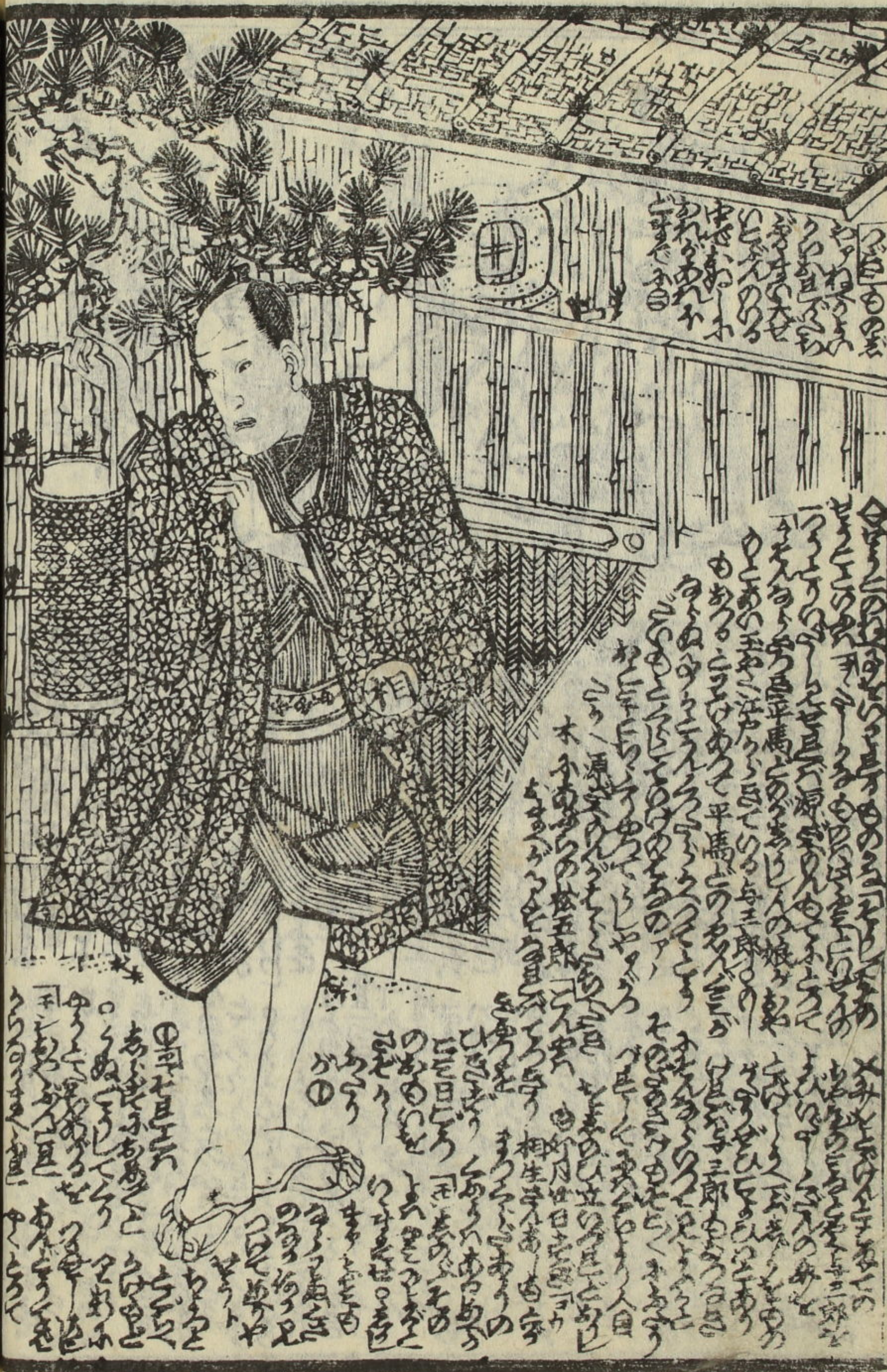
黄葉の音

Vertical Japanese text columns, likely a narrative or dialogue, positioned below the illustration on the left page.



Vertical Japanese text columns, likely a narrative or dialogue, positioned below the illustration on the right page.

おのれも  
いふべき  
ことあり  
けれは  
おれも  
いふべき  
ことあり  
けれは



おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは

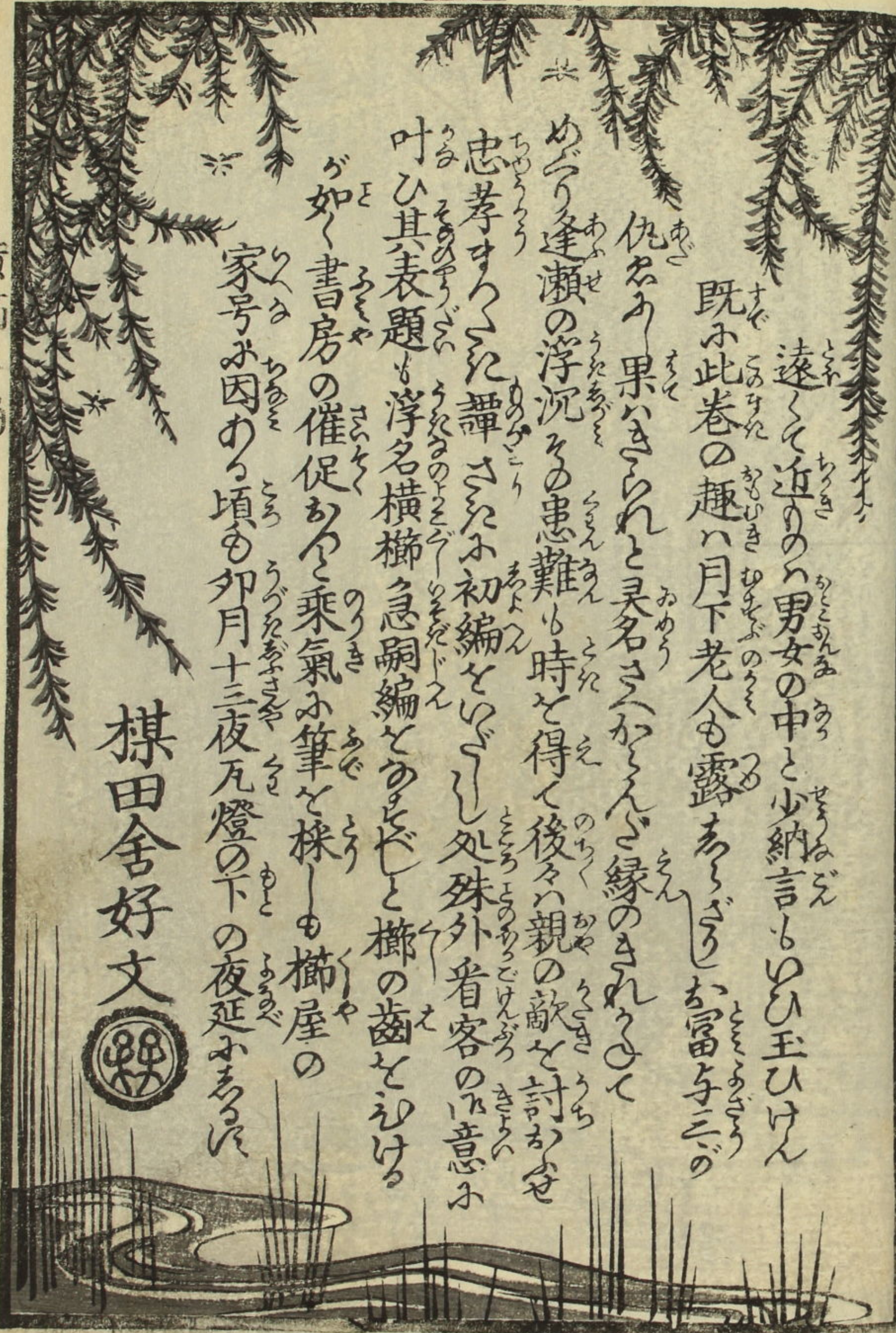


おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは

おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは  
おれもいふべきことありけれは



黄節二編



遠く近の男女の中と少納言もひひ玉ひけん  
 既此巻の趣は月下老人も露あふる富子この

仇名果はこれと名さかへん縁のされうひて  
 めぐり逢瀬の浮沈その患難も時を得て後々の親の敵を討かせ

忠孝すつた譚さた初編をいじし外殊外看客の注意ふ  
 叶ひ其表題も浮名横櫛急嗣編とあはせと櫛の齒をむける

如く書房の催促ある乗氣小筆と株も櫛屋の  
 家号が因の頃も卯月十三夜瓦燈の下の夜延ふるに

榎田舎好文



好文作 國芳画



△永當く  
 水山一後  
 山方伴  
 寺希上

↑三郎が...  
 大切...  
 續編...  
 より△和日

作者口上  
 扱この初編の趣ありて...  
 猶もえたるく見よ...  
 いのちこのありて...  
 めぐりあふ原氏店室の...  
 名て實母の...

三八一



青木一五

伊豆屋  
与五郎  
編蝠の安  
三編の上  
越え出



青木一五

藍屋娘  
お津留  
下女  
お作

井澄屋の  
支配人  
多左衛門

心掛  
おれ  
おれ  
おれ  
おれ  
おれ  
おれ

横富



穂積  
集人  
妻  
小笹

向疵

向疵の  
与三

藤頭



かゝるに... 〇んや三郎...  
のて今宵... 〇んや三郎...  
相生... 〇んや三郎...  
のあや... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...

〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...

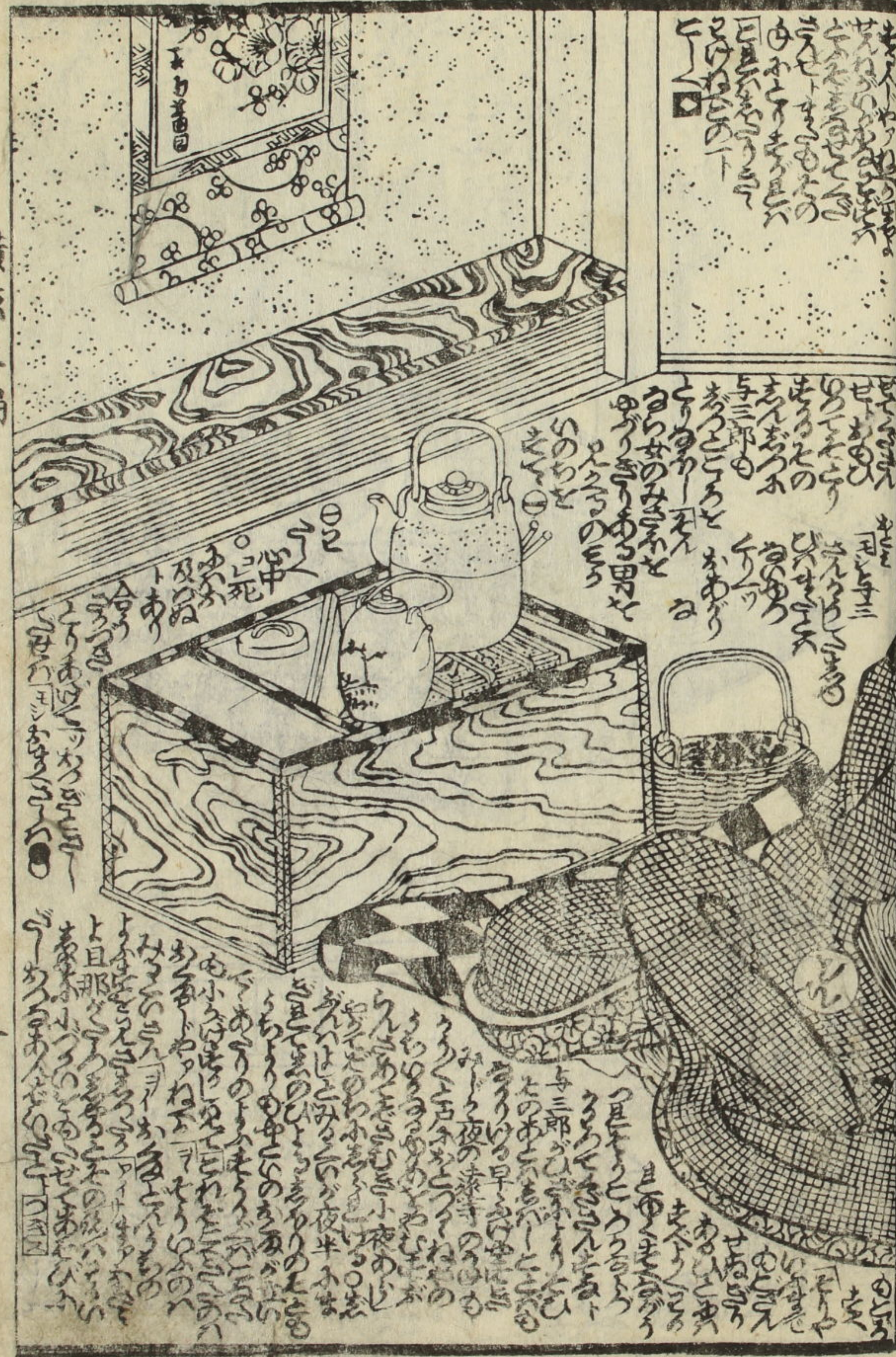


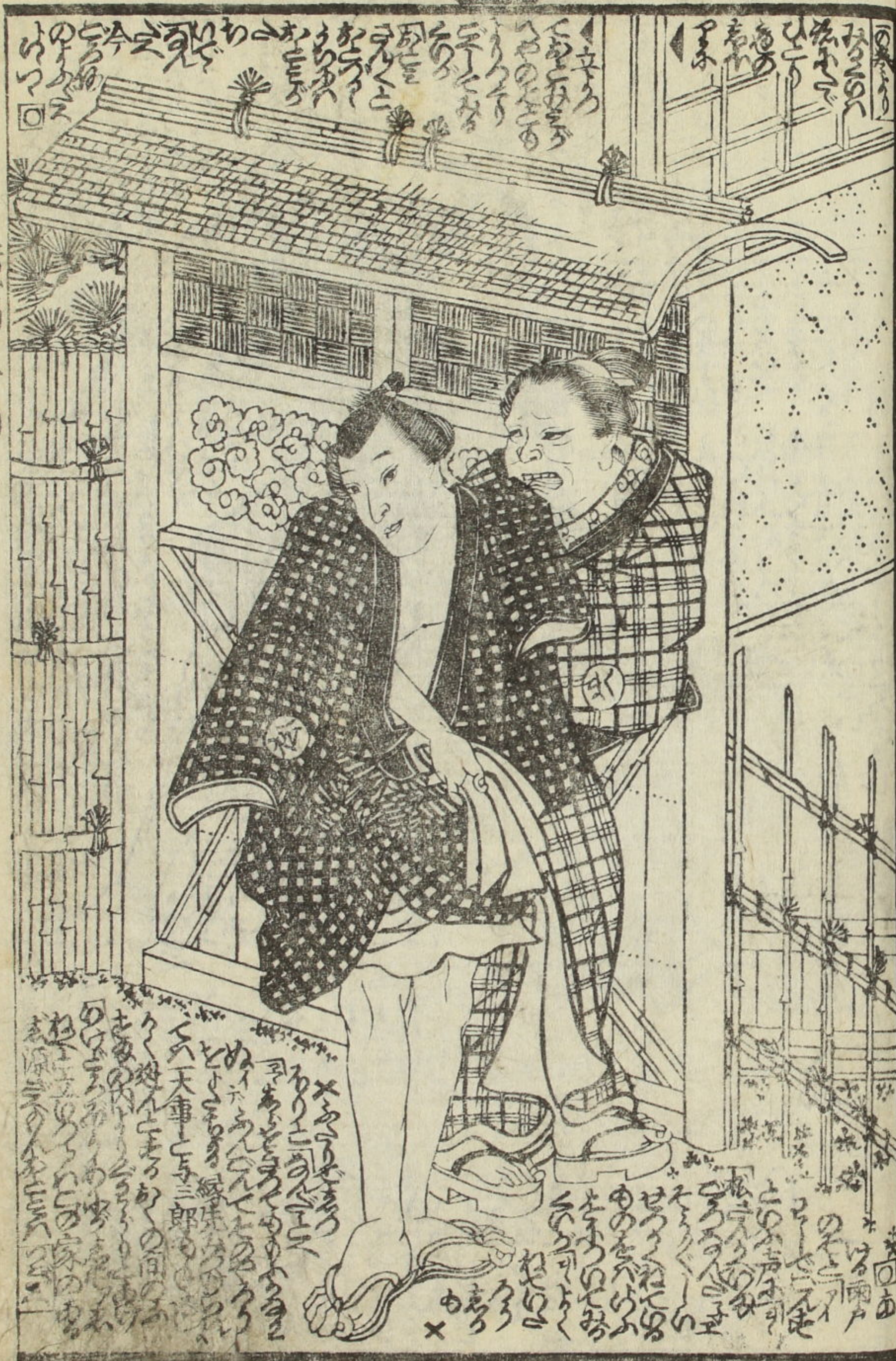
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...

〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...

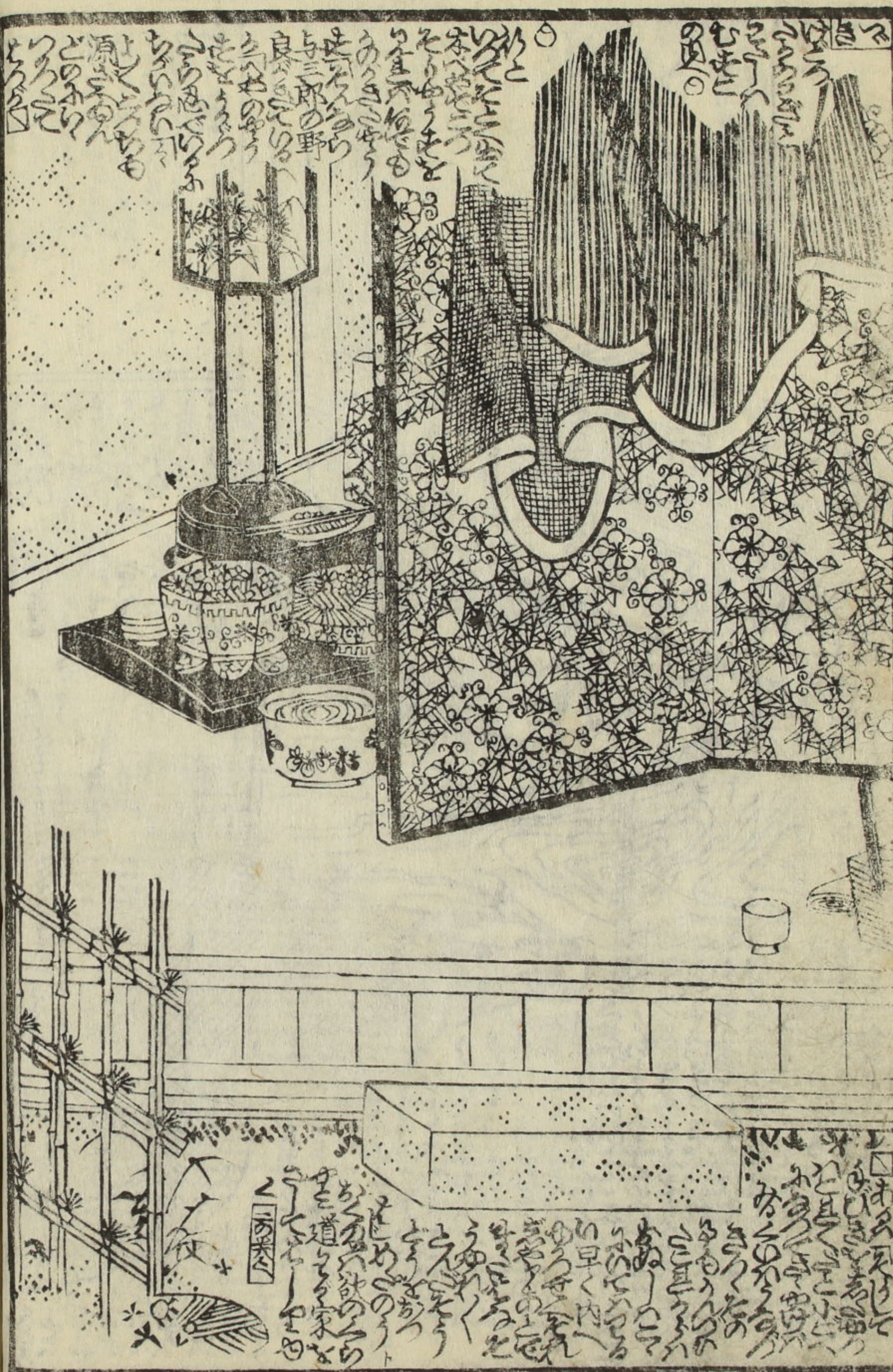


〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...  
〇んや三郎... 〇んや三郎...





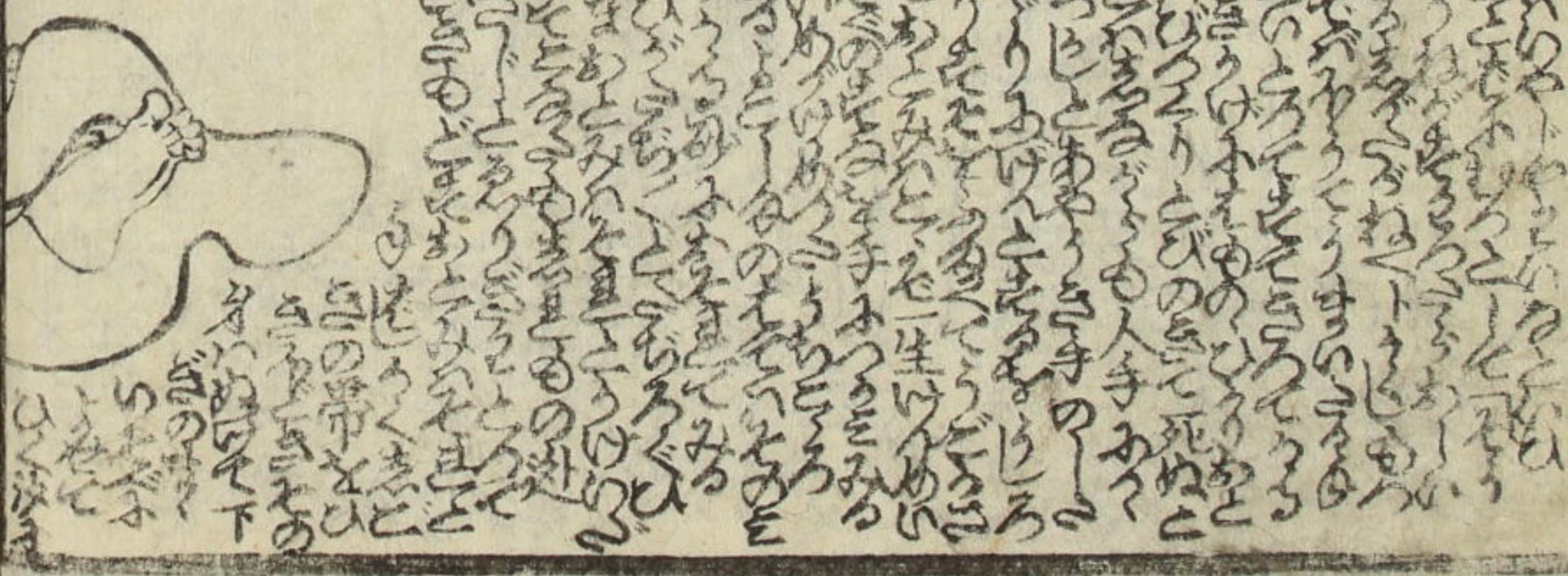
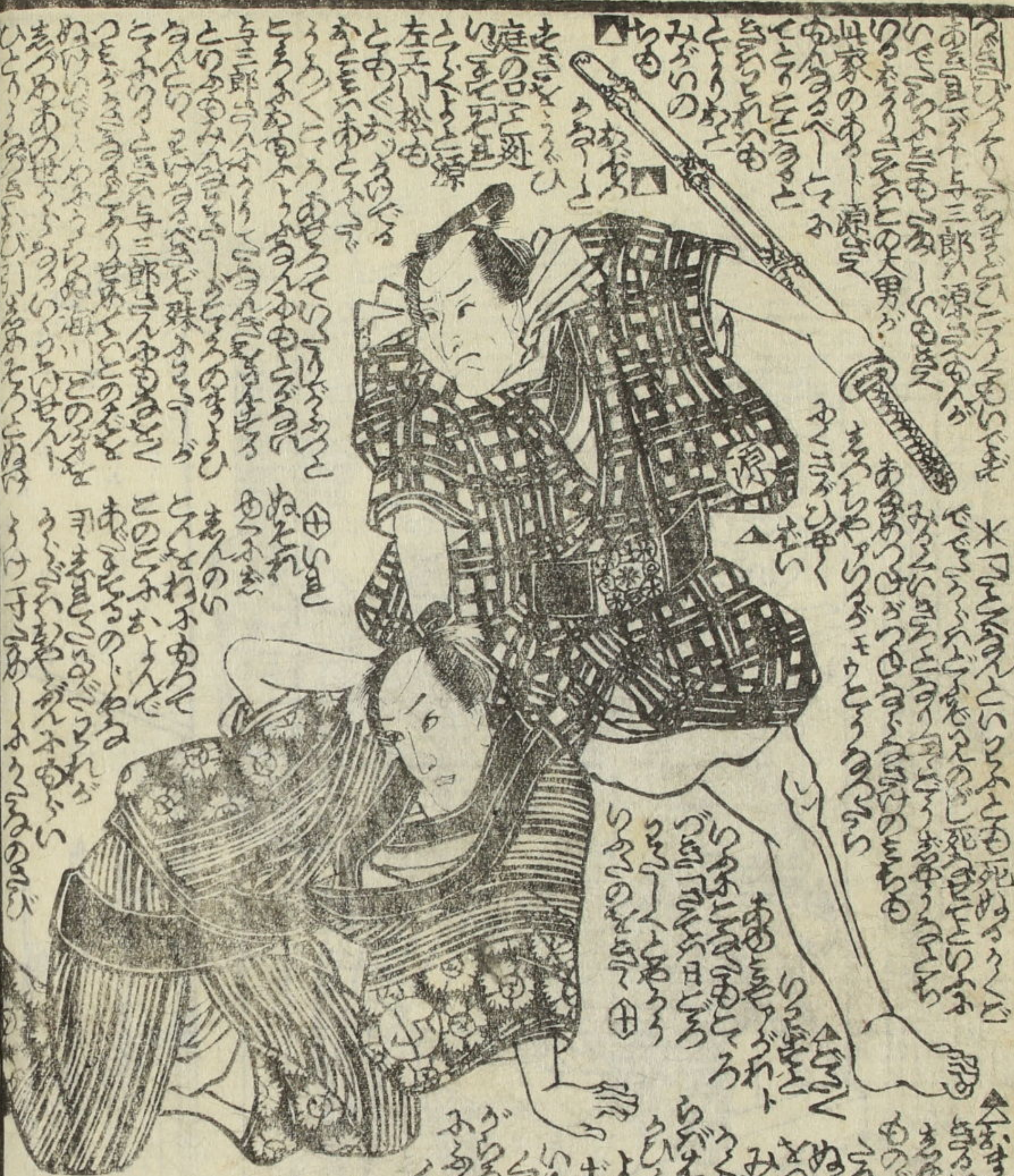
清浄二編



Vertical columns of handwritten Japanese text on the left page, including the title '黄第一編' at the top left.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the right page, surrounding the illustrations.



此の山は... 三郎... 松...



三郎... 松... 青布二翁







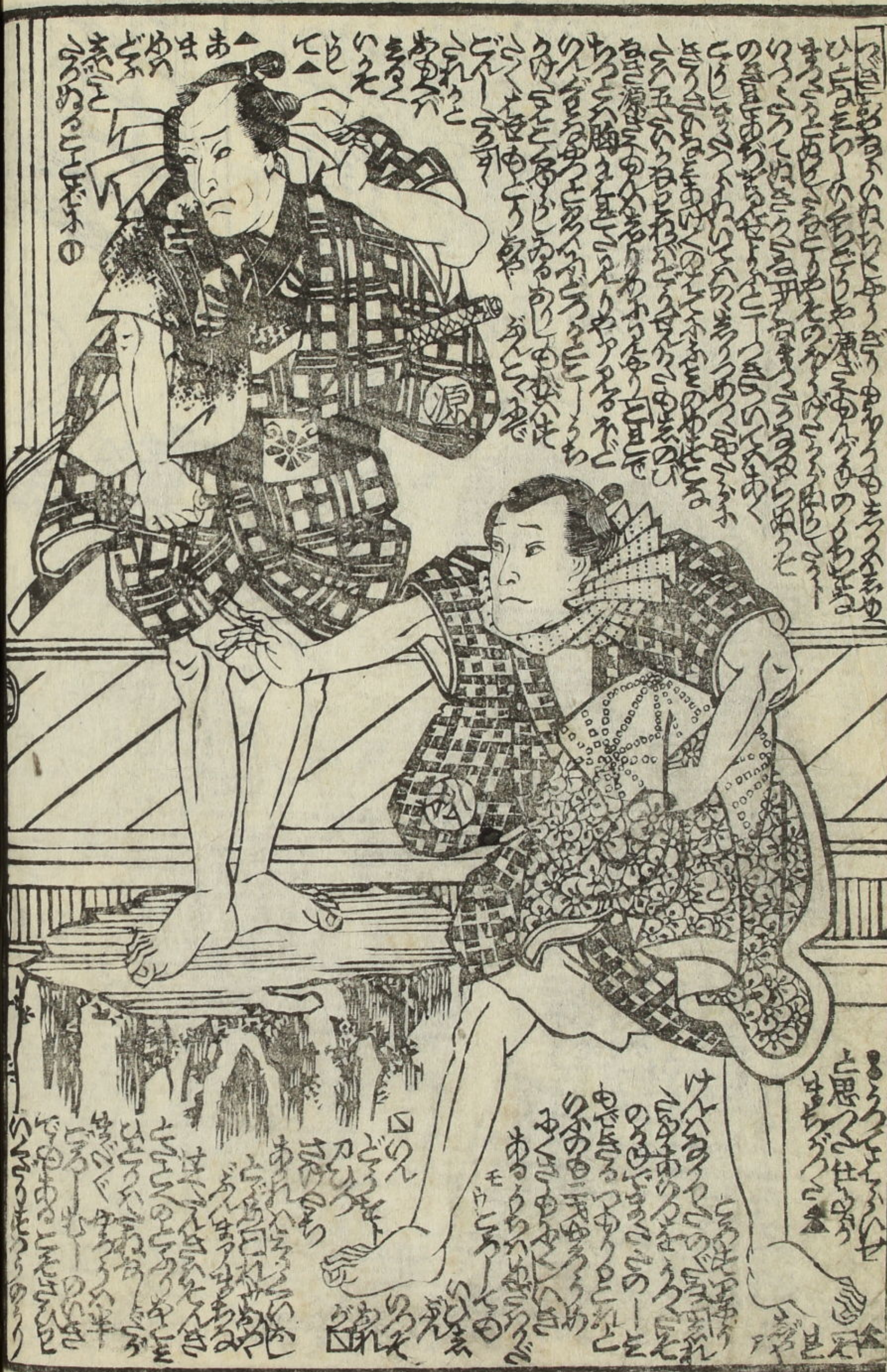
此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 変わらぬ  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり

此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 変わらぬ  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり



此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 変わらぬ  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり

此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 変わらぬ  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり  
 世の常なり  
 人の心なり









Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the right page.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the left page.





黄節二編

十五





三の...  
 四の...  
 五の...  
 六の...  
 七の...  
 八の...  
 九の...  
 十の...  
 十一の...  
 十二の...  
 十三の...  
 十四の...  
 十五の...  
 十六の...  
 十七の...  
 十八の...  
 十九の...  
 二十の...

黄蜂二篇

十六



三の...  
 四の...  
 五の...  
 六の...  
 七の...  
 八の...  
 九の...  
 十の...  
 十一の...  
 十二の...  
 十三の...  
 十四の...  
 十五の...  
 十六の...  
 十七の...  
 十八の...  
 十九の...  
 二十の...

黄蜂二篇

十六



Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page, likely serving as a title or introductory text for the illustration below.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page, likely providing commentary or dialogue related to the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page, continuing the text from the right page or providing additional context.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the left page, likely providing commentary or dialogue related to the illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a commentary or a play script, surrounding the illustrations on the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a commentary or a play script, surrounding the illustrations on the left page.









千葉の  
藩中  
山鹿毛  
平馬



夜  
の  
静  
け  
な  
さ  
を  
表  
す

赤間  
源左衛門  
の  
後  
の  
巻  
の  
趣  
を  
表  
す  
小  
笹  
車  
人  
妻

源氏店  
人情多様抄



源氏店  
人情多様抄  
中巻  
源氏店  
人情多様抄

源氏店  
人情多様抄  
源氏店  
人情多様抄

源氏店  
人情多様抄  
源氏店  
人情多様抄

源氏店  
人情多様抄  
源氏店  
人情多様抄



源氏店  
人情多様抄  
源氏店  
人情多様抄







Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the left page.



横 三

下

Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the right page.



横 三

下



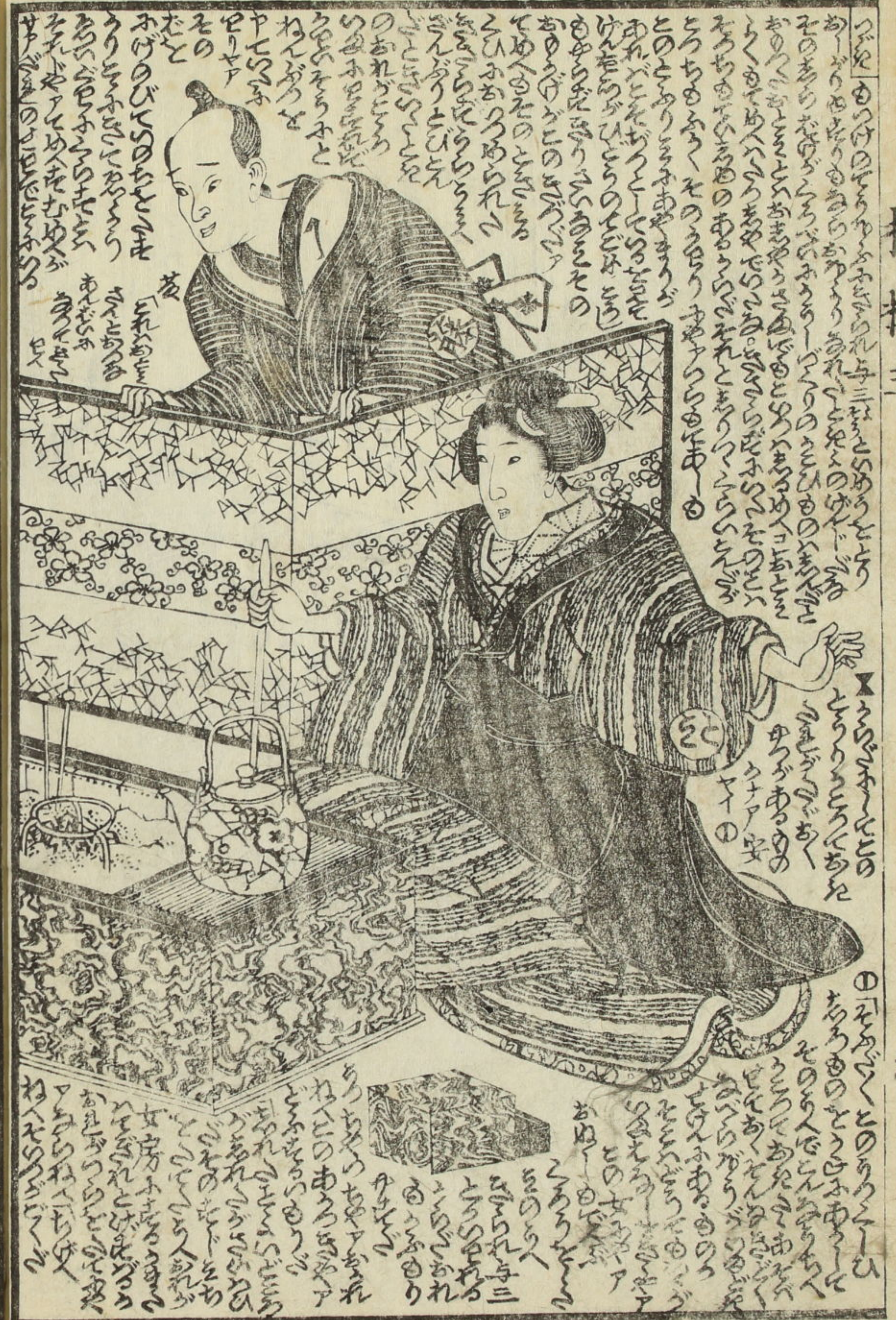






Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the top portion of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom portion of the illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the top portion of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom portion of the illustration.

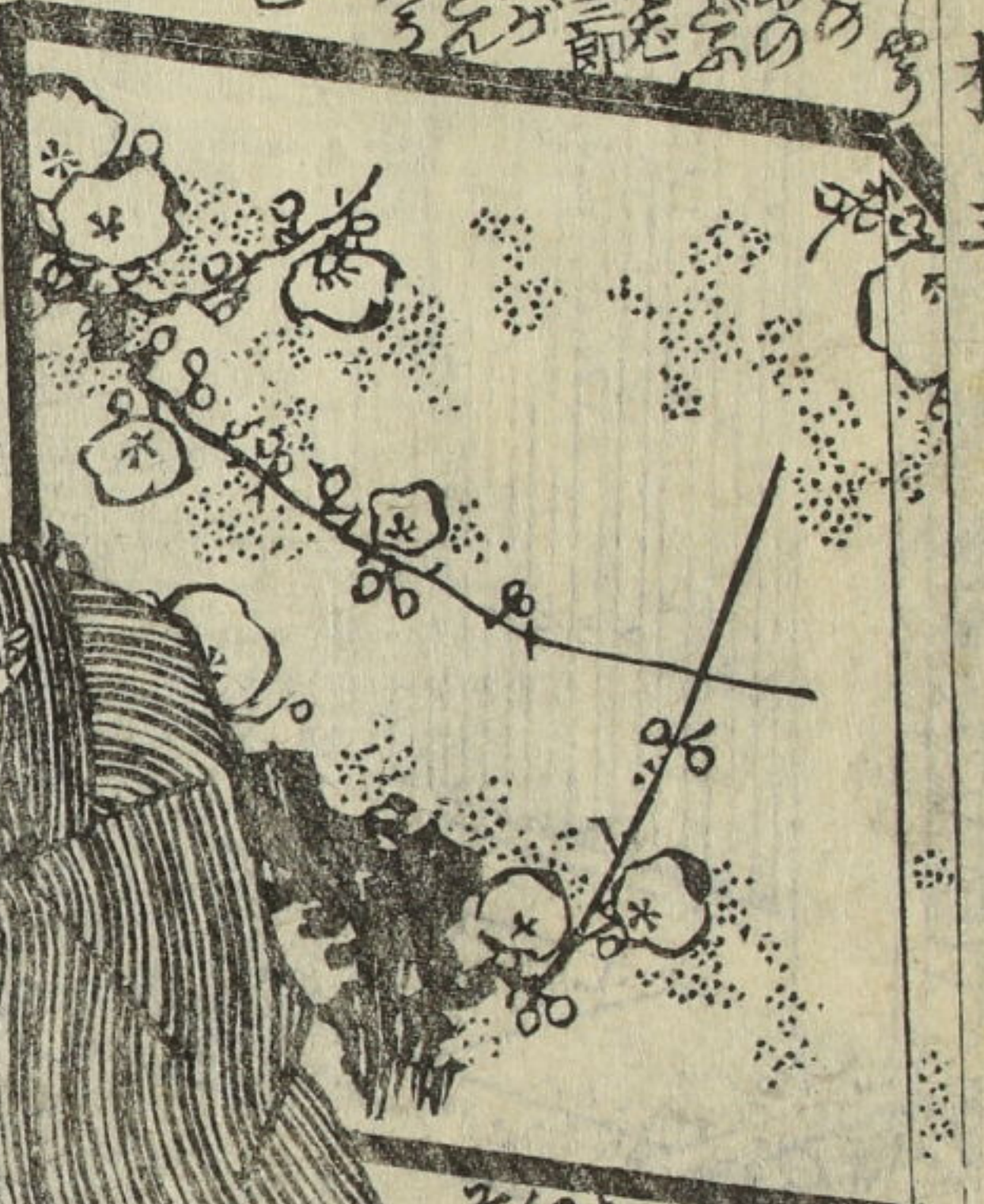






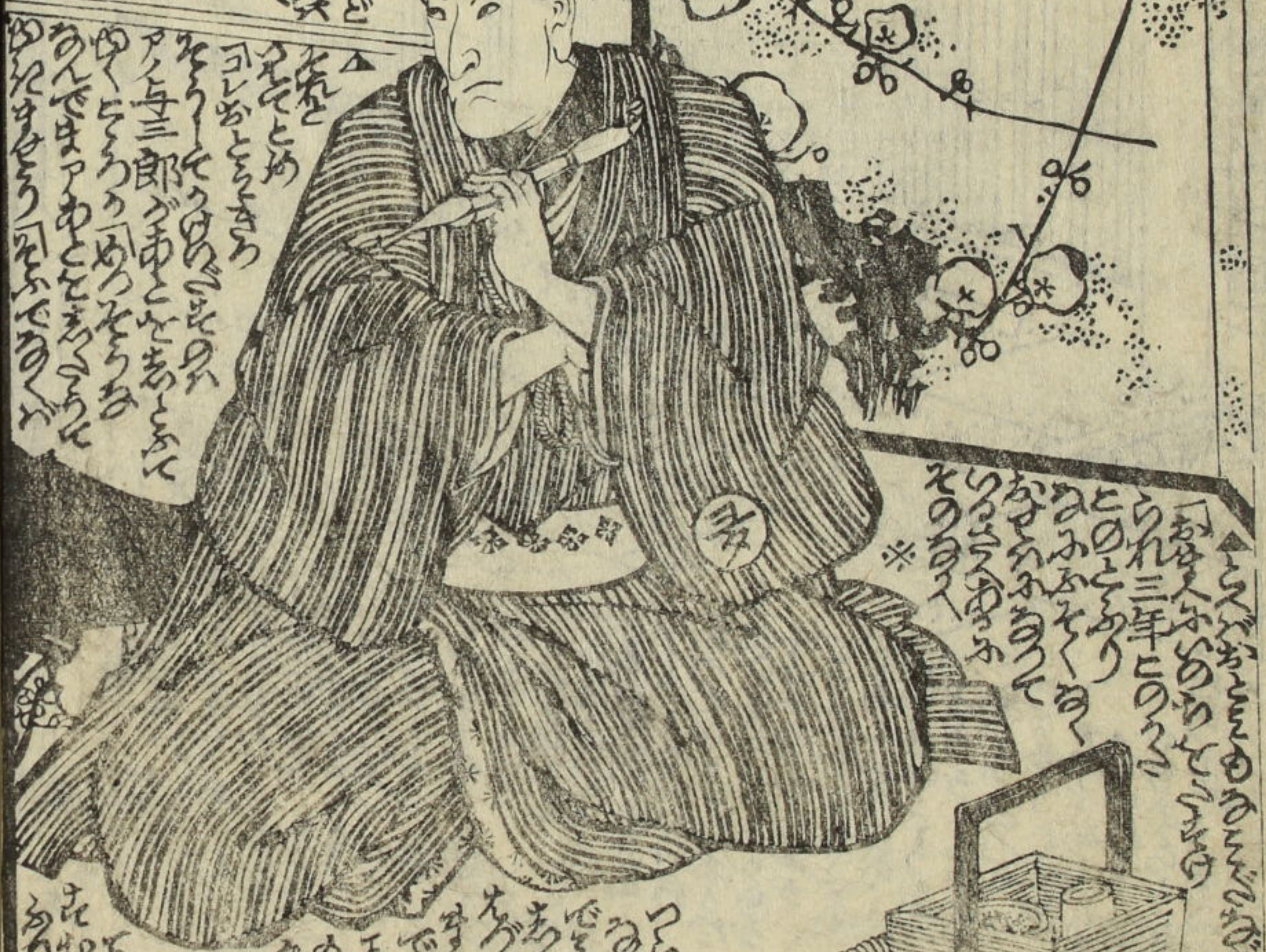






あつたての... 三年の... ありありと... なるなる... なるなる... なるなる...

あつたての... 三年の... ありありと... なるなる... なるなる... なるなる...



あつたての... 三年の... ありありと... なるなる... なるなる... なるなる...

あつたての... 三年の... ありありと... なるなる... なるなる... なるなる...



あつたての... 三年の... ありありと... なるなる... なるなる... なるなる...







おのれは... 金三郎... 木村二



おのれは... 金三郎... 木村二



おのれは... 金三郎... 黄節三





<p>美艶仙女香 黒油美香 坂本氏製</p>	<p>春の多し 艸紙 一壽齋國貞画</p>	<p>邯鄲諸國物語 一壽齋國貞画</p>	<p>薄紫宇治曙 一陽齋豐國画</p>	<p>御伽譚博多新織 一勇齋國芳画</p>
<p>榮久堂 山本平吉版</p>	<p>堀川唄真實録 一勇齋國芳画</p>	<p>通天橋念之一枝 五雲亭貞秀画</p>	<p>八犬傳後日譚 一勇齋國芳画</p>	<p>瀨川如昇源編 榎田好文作 いさむら 筑紫海の奇談室田貞行小性紅巻丸容 色小あひまんの孝養がむらつゝにわらひのうた 浦島太郎の孝養がむらつゝにわらひのうた をあらわすことわざを引つゝ出版仕ゆるはりこめ はつらんを秘す希よ</p>

榎田舍好文作



一勇齋國芳画

これより編みあはるる  
与三郎の源左門  
女護りのしぬのぬめもの  
古今あゆみ  
あまを  
あまを  
あまを

猶  
高評  
云々

